

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

丹波市立西小学校

1. 調査結果のポイント

<学力について>

国語、算数は、全国平均を下回り、理科は、全国平均とほぼ同程度でした。

3教科とも、基本的な問題はできていました。授業で学んだ基礎が身についている証拠です。しかし、考えをまとめたり、理由を説明したりする問題になると、苦手な様子が見られました。

【国語】 文章を読み取る力は少しずつ身についていますが、自分の言葉で深く考え、表現する力に課題があります。言葉の微妙な違いを読み解く力や、問題の意味に沿った作文を書く力にも課題があります。

【算数】 基本的な計算や図形の問題は得意です。しかし、「データの活用」など、たくさんの情報から必要なものを見つける問題に苦戦しています。また、どうやって答えを出したかの式の立て方を説明する力にも課題があります。

【理科】 実験や観察の基本的な知識は身についています。しかし、「エネルギー」の分野や、実験の結果を説明する記述問題に課題があります。

<生活面について（児童質問紙から）>

子どもたちは、「人を大切にする優しい心」をしっかりと持っています。困っている人を助けたり、人の役に立ったりしたいと思う気持ちが全国平均より高いことは、本校の大きな宝です。

しかし、日々の生活習慣には心配な点が見られました。

勉強時間: 学校外で1日1時間以上勉強している割合は、全国平均より少ないです。

ICT 機器: スマホなどでゲームや動画を視聴する時間が、全国平均より長いです。

これらの課題は、お子さんたちの学力にも影響していると考えられます。

2. 今後の取り組み

今回の結果を受けて、学校では以下のことを重点的に進めていきます。

授業の工夫: 子どもたちが「知りたい、やってみたい」と感じるような課題を設定し、基礎問題だけでなく、「なぜそうなるのか？」を考え、自分の言葉で説明するような授業を増やします。例えば、国語の説明文の要約や、算数の説明問題に繰り返し取り組みます。

家庭学習: 「朝スキル」の時間に応用問題にも挑戦します。家庭でも「24 の日」などに無理のない範囲での学習を促していただけると、お子さんの力がさらに伸びます。

ICT 機器との向き合い方: 保護者の皆さんと一緒に、スマホやゲームとの上手な付き合い方を考えていきたいと考えます。また、10月22日の参観日には、専門家による「スマホ教室」を実施しますので、ぜひご参加ください。

これらの取り組みを通して、子どもたちが「分かった!」「できた!」と実感し、粘り強く学ぶ力を育てていきます。これからも、学校とご家庭が協力して、お子さんの成長をサポートしていきましょう。